

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 77
R4. 12.21
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

「福島発のキュウリビズ 愛情込めてキュウリ栽培大作戦」

表彰式レポート!



受賞後の記念撮影
(福島民報社の方と)

県内の小学生が育てたキュウリの観察日記、キュウリを使ったレシピを募るコンクールにおいて、3年生が応募した作品が見事最優秀賞に輝きました。昨日は、福島市で表彰式が行われ、3年生の代表児童2名と私が出席し、賞状やクリスタル盾、様々な副賞をいただきました。

また、表彰式の最後には、最優秀賞と優秀賞を受賞した2校の児童による感想発表が行われました。本校の代表児童は、受賞の喜びや活動を通して学んだこと、感じたことなどを堂々と発表し、関係者の方々から「素晴らしい発表でした」と称賛のお言葉を沢山いただきました。裏面に発表原稿を掲載しましたのでご覧ください。

表彰式の様子を写真でご紹介します。



会場入り口には、磐梯第一小学校の活動の様子をメインで紹介するポスターが展示されていました



テレビ局のインタビューに緊張した面持ちで話す代表の子どもたち

会場後方には、各校の作品が展示されていました

〈表彰式 感想発表原稿〉

キュウリが教えてくれたこと

「ええっ!？」ぼくは、おどろいて大きな声を出してしまいました。ぼくたちのキュウリピズの作品が、さいゆうしゅうしょうにかがやいたからです。なんと、新聞にものりました。

1学期、ぼくたちは、一つ一つのなえに名前をつけて、毎朝水をあげて、みんなで大切に育てました。しゅうかくしたキュウリは、きゅう食の時や、終業式の時に食べました。みんなで育てたキュウリは、いつも食べているキュウリよりもずっとおいしく感じました。

社会の見学学習では、農家の人の思いを知りました。農家の鈴木さんは、ぼくたちがキュウリを一生けんめいに育てていると知って、とてもよろこんでくれました。夏休み中には、友だちが水をあげてくれていたので、ぼくたちのキュウリはとても長生きしました。

それから、ぼくたちは「三年生のキュウリ畑日記」を作りはじめ、みんなで役わりを分たんしました。ぼくは表紙たんとうでした。タブレットで文字をうつ係にもなりました。ぼくたち16人と先生の、17人で力を合わせ、心をこめてがんばりました。「チームワークがすごい」と校長先生にもほめられました。

だから、畑じまいをするときは、今まで育ててきたことを思い出して、なんだか悲しかったです。がんばって実をつけてくれたキュウリにかんしゃの気持ちをこめて、みんなでいねいに畑を片づけました。

また、10月のほたるっ子発表会では、3年生は「あつまれ!キューカンパー島」というオリジナルのげきをしました。内容は、リコーダーやばんだい神社のみこまい、スノーマンのダンス、そして、キュウリのかんさつのことです。キュウリのぬいぐるみを持っておどるところもありました。見に来てくれたたくさんの人たちが、わらったり泣いたりして、かんどうしてくれました。

こうしてみると、今回いただいたしょうは、ぼくたちだけの力でかくとくしたものではありません。ずっと見守ってくれた先生方、ネットをはるのを手伝ってくれた用お買さん、農業の苦勞やすばらしさを感じさせてくれた農家の人、そして、夏休みの水やりのために学校につれてきてくれ、おうえんしてくれたおうちの人。たくさんの人たちへのかんしゃを、ぼくたちはわすれてはいけません。ぼくは、おうえんしてくれたみんなに、このしょうを分けてあげたいです。「かんしゃ」の気持ちと、チームワークの大切さを教えてくれたキュウリ。本当にありがとう!